

全員野球で経大旋風を巻き起こせ!

経スポ



目指すは
全国制覇

関西二次トーナメント制覇 準硬式も全国へ

全国大会出場がかかった関西二次トーナメント決勝。相手は春の近畿六大学リーグ戦でも同率フレイオフで戦った近畿大学。本学にとっては同じリーグで長年に渡って競い合ってきたライバルでもあった。試合は予想通り1点を争うシーソーゲームに。本学は4回に相手エラーで先制5回にはホームランで1点を失うも、8回には太田のタイムリーで3対1とし、このリードをエース生田を中心に全員で守りきり陸上部に続き全国大会出場を決めた。

今年のチームの特色は何と言っても部員一体となった全員野球。「チームワークではどこにも負けない」と小山主務。攻撃陣は沖、柳生を中心にして、確実にランナーを進めチャンスをものにする勝負強さを持つ。一方、守備陣は抜群の制球力を持つエース生田を中心に相手に点を与えない野球でここまで勝ち上がってきた。全国大会での目標は「出るからには全国制覇したい」と選手達の意気込みは高い。

「文武両道」をモットーとする準硬式野球部は、授業に出るため、平日の全体練習は早朝に行っている。ただ、練習時間が限られているからこそ「いかに集中するか」をテーマに練習しており、普段から試合のような緊張感を持って練習が行えているそうである。この集中力とチームワークを武器に、準硬式野球部が全国大会でも経大旋風を巻き起こしてくれることを大いに期待したい。



発行:大阪経済大学
スポーツ文化振興室

経大



選手達の日々の努力の結果、全日本大会出場を決めることが出来ました。選手共々優勝目指して頑張りますのでご声援のほど宜しくお願いします。(稲田監督)
3年ぶりの全日本!自分たちの力で勝ち取る事ができました。出るからには、恥ずかしくない試合をし、優勝を目指して頑張ります!(沖主将)
私が一回生の時に、全日本を経験させてもらったから、ずっともう一度全日本に出たいという思いで練習に励みました。私の野球人生の集大成であるこの全日本で思いきりプレイしたいと思います!応援よろしくお願いします!(小山主務)

準硬式野球
VOICE

昭和29年第6回大会で、単科大学としては、初の快挙から今年で58年。その後、平成17年に二度目の優勝はしたが、その後は残念ながら不振の年が続いた。しかし、今年は稲田監督の指導の下、優勝を狙えるチームとなった。8月末には皆さん方に必ず吉報をお届けできると思っています。どうか、ご声援のほどを宜しくお願いいたします。(牧田総監督)